

令和2年度
群馬東部水道企業団水道料金審議会
(第3回)

令和元年度決算について

令和2年11月16日



目次

(前回のまとめ) 第2回水道料金審議会の概要

1. 水道事業会計の概要
2. 収益的収支(3条予算)
3. 資本的収支(4条予算)
4. 主な工事

(前回のまとめ)群馬東部水道企業団の現状

経営状況について

- ◆ 現状は健全な事業運営を維持できている。ただし、類似団体と比較すると、劣る部分が多い。
- ◆ 今後の更新需要の増加に伴い、経常収支比率や料金回収率が100%を下回り、健全な事業運営を維持できないおそれがある。

取り組むべき課題について

- ◆ 老朽化が進む水道施設の適切な更新、頻発する自然災害の対策など取り組むべき事業は今後も増加していく見込みである。
- ◆ 一方で、水需要減少に伴い給水収益も減少傾向にあり、将来的に事業実施のための財源不足が懸念される。

給水収益が減少する一方、老朽化資産の更新、災害対策の実施のための財源が必要となっている状況にある。

(前回のまとめ) 今回の料金統一の目的

水道料金負担の不平等の解消

- ◆ 現状は8構成団体別の料金表に基づき料金算定を行っており、平等なサービスを提供している一方で不平等な料金負担をお願いしている状況にある。
- ◆ 3市5町の間における水道料金負担の不平等を解消するために水道料金の統一を図る必要がある。

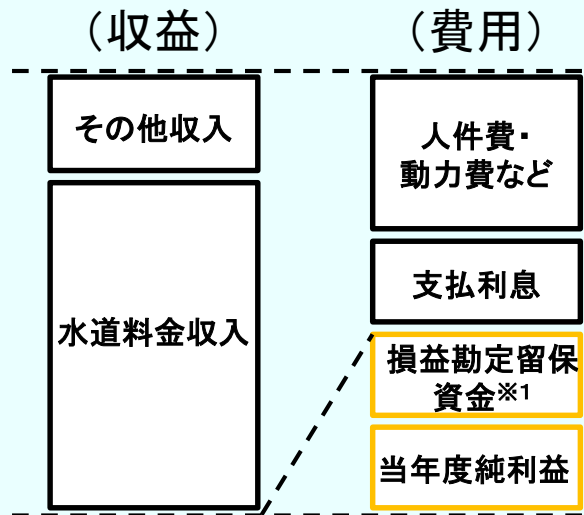
健全な事業運営のための財源確保

- ◆ 水道施設の老朽化に伴う更新需要の増加、水需要減少に伴う給水収益の減少など水道事業の環境はますます厳しくなる。
- ◆ 事業統合や施設の統廃合の推進等を進めているが、効率化・費用削減には限界が生じつつある。
- ◆ 健全な事業運営のための財源確保として、水道料金の適正化についても検討を行う必要がある。

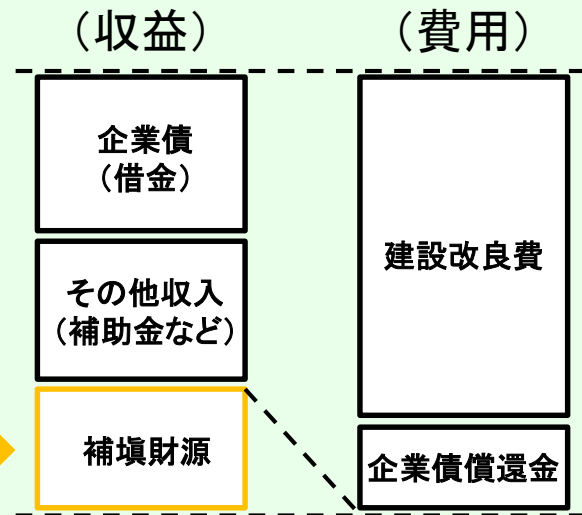
1-1. 水道事業会計の概要

◆ 水道事業会計は、収益的収支と資本的収支で構成されます

安全で安心して飲める水道水を利用者に届けるための費用と財源
(収益的収支(3条予算))



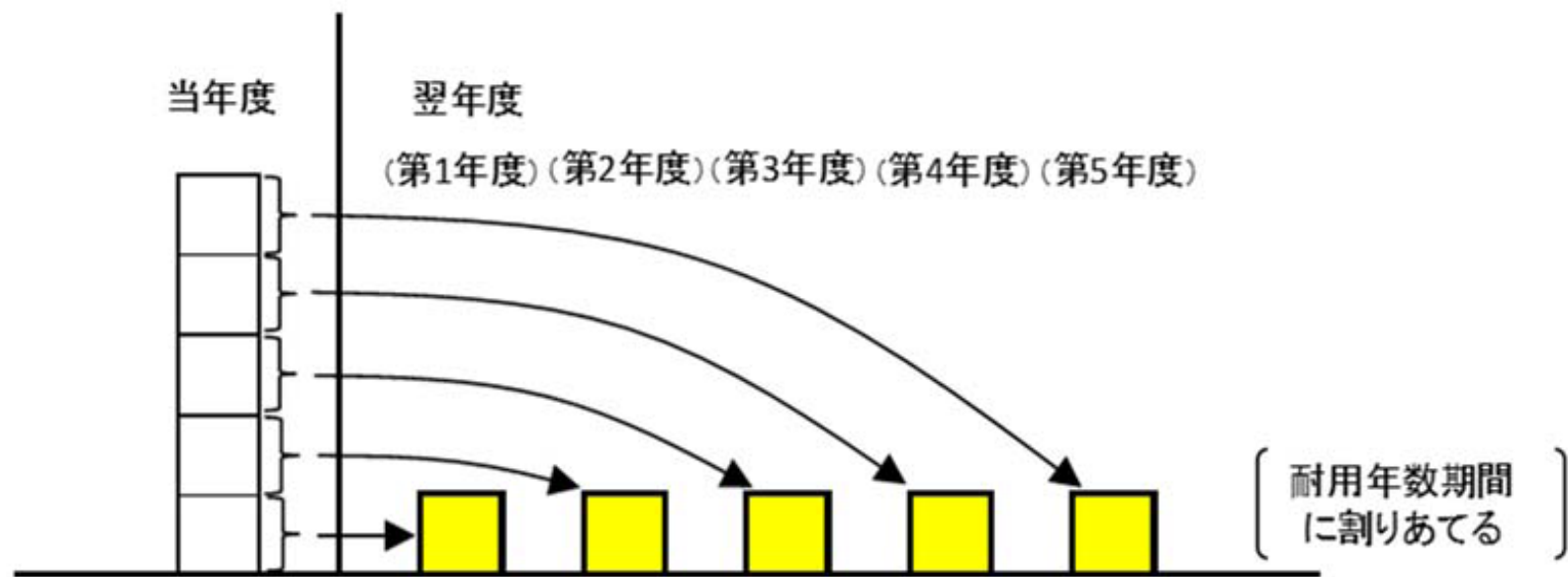
水道管などの施設を整備・更新する費用と財源
(資本的収支(4条予算))



※1. 損益勘定留保資金: 減価償却費等の実際に現金の支出を伴わない経費である。

1-2. 水道事業会計の特徴(減価償却費)

浄水場のように、その支出の効果が数年間にわたって持続するものについては、当該年度の費用とはされず、翌年度以降に繰り延べられ(固定資産)、翌年度以降の期間損益計算の費用として計上されます。



※出典:総務省地方公営企業法の適用に関するマニュアル

2-1. 収益的収支(3条予算)

収入 93億2,436万8,774円

水道管を引き込む際にいただいた加入金
2億4,610万円

その他
1億7,879万5,013円

利用者さまからの水道料金
81億6,290万2,961円

支出 87億3,165万7,320円

補助金等の収益化
7億3,657万800円

県から水道水を買った費用
18億277万392円

減価償却費
33億3,026万6,291円

維持管理費等
29億6,230万7,118円

垂直
統合

人件費
2億5,709万3,954円

借入金の利息
3億7,921万9,565円

収支差(純利益)
5億9,271万1,454円
(黒字)

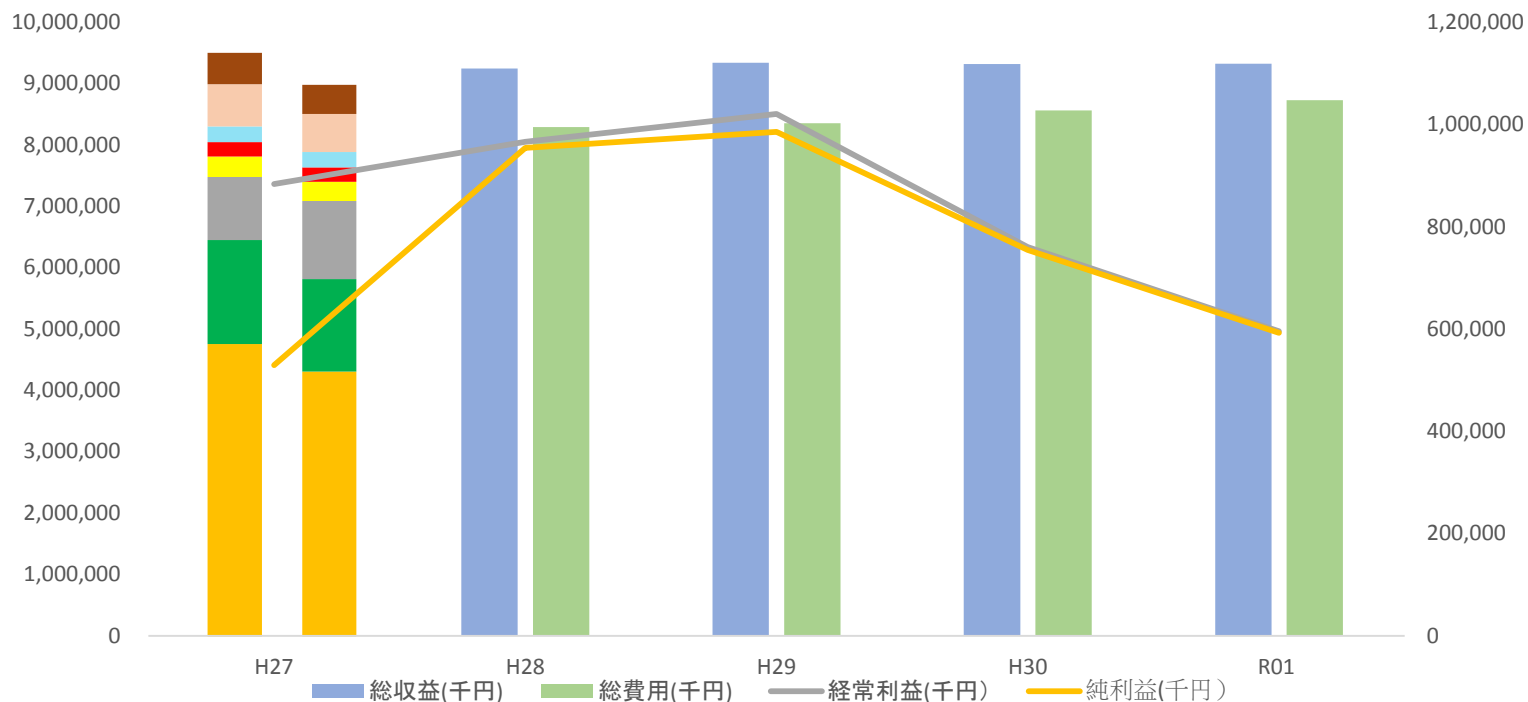
今後も
必要な費用
約14億円

(企業団試算)

統合の効果
4億円

※出典: 令和元年度決算書 (値は税抜き)

2-2. 収益・費用・利益の推移(参考)

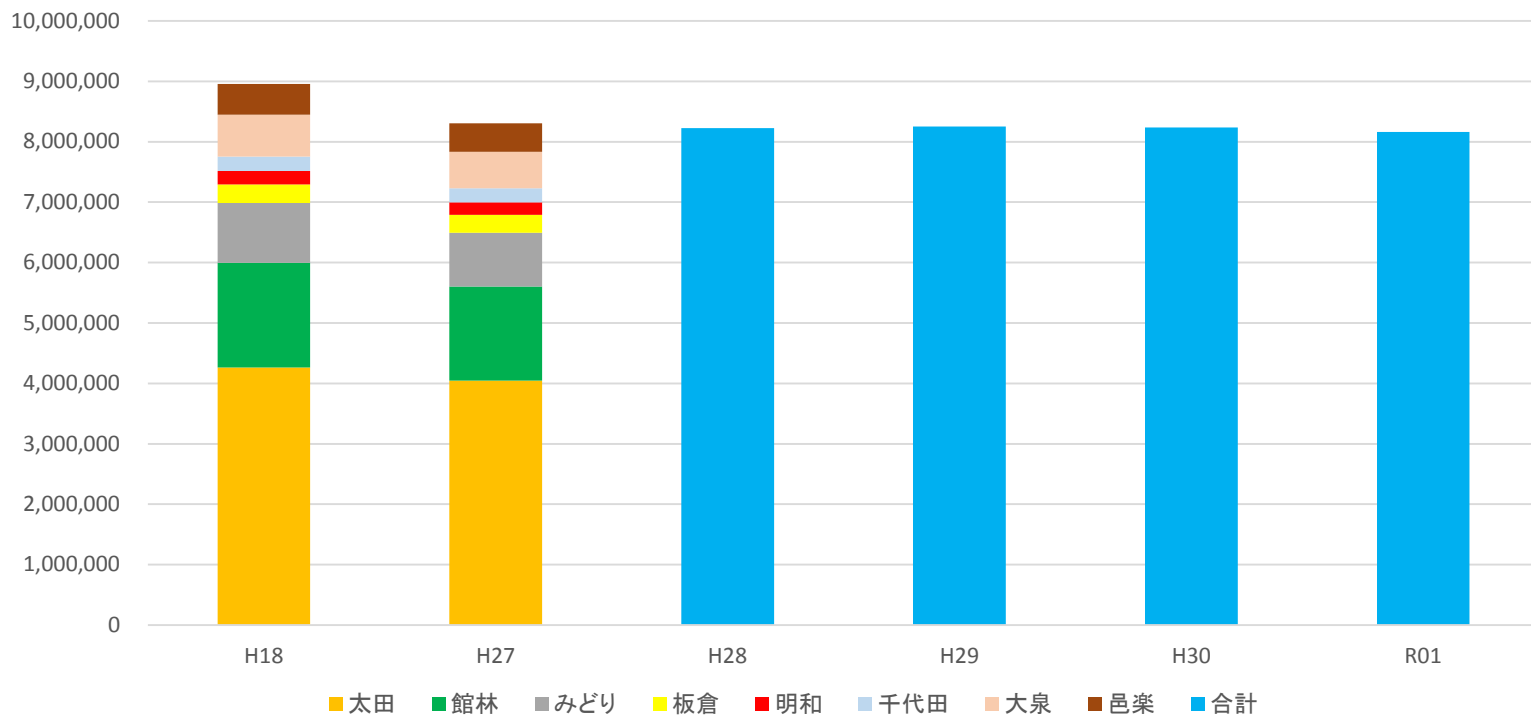


	H27	H28	H29	H30	R01
総収益(千円)	9,597,293	9,247,781	9,339,837	9,320,145	9,324,369
総費用(千円)	9,068,006	8,293,394	8,354,073	8,565,234	8,731,657
経常利益(千円)	883,728	966,193	1,020,683	760,470	595,550
純利益(千円)	529,287	954,387	985,764	754,911	592,712

平成27年度	太田	館林	みどり	板倉	明和	千代田	大泉	邑楽	合計
総収益(千円)	4,807,291	1,712,095	1,036,167	334,218	239,871	256,239	696,133	515,279	9,597,293
総費用(千円)	4,356,336	1,522,332	1,281,528	316,978	234,168	252,293	627,814	476,557	9,068,006
経常利益(千円)	452,949	187,596	110,783	17,247	1,431	3,946	69,856	39,920	883,728
純利益(千円)	450,955	189,763	-245,361	17,240	5,703	3,946	68,319	38,722	529,287

※出典: 決算書
(値は税抜き)

2-3. 水道料金収入推移(参考)



(単位: 千円)

年度	H18	H27	H28	H29	H30	R01
給水収益	8,958,364	8,303,261	8,226,726	8,252,539	8,236,611	8,162,903

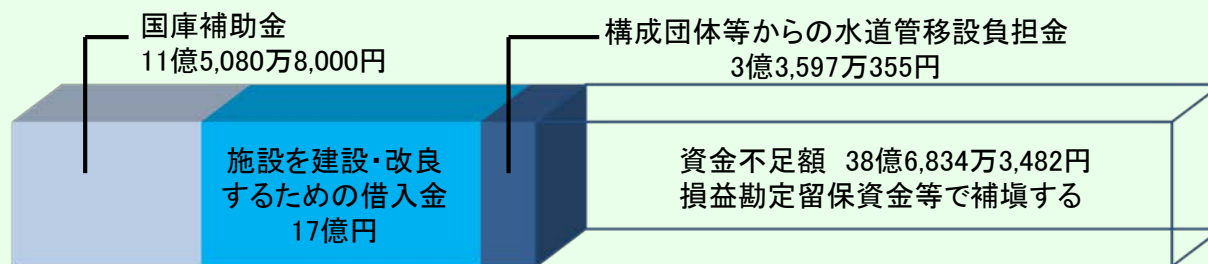
(単位: 千円)

給水収益	太田	館林	みどり	板倉	明和	千代田	大泉	邑楽	合計
H18	4,265,880	1,729,278	988,584	310,994	218,918	241,896	690,719	512,095	8,958,364
H27	4,046,576	1,558,401	889,505	294,019	209,212	231,059	604,833	469,656	8,303,261

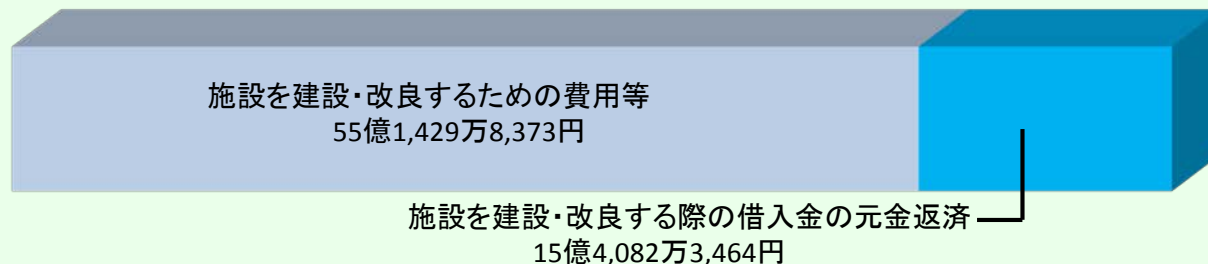
※出典: 決算書
(値は税抜き)

3-1. 資本的収支(4条予算)

収入 31億8,677万8,355円

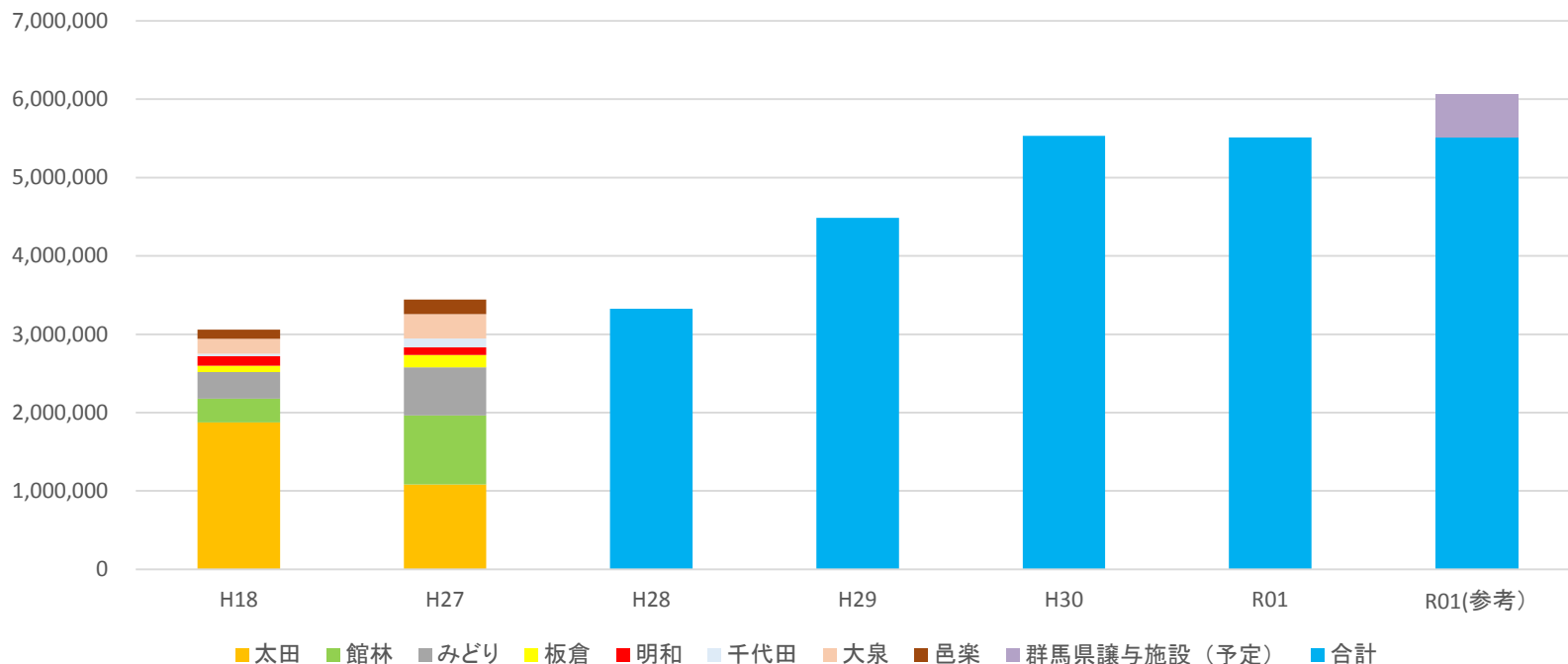


支出 70億5,512万1,837円



※出典: 令和元年度決算書 (値は税込み)

3-2. 建設改良費推移(参考)



※群馬県譲与施設(予定)は、垂直統合基本構想で算出した建設改良費の令和2年～令和6年までの平均値544,920千円とした。

(単位:千円)

年度	H18	H27	H28	H29	H30	R01	R01(参考)
建設改良費	3,059,132	3,443,154	3,326,625	4,484,645	5,534,296	5,514,298	6,059,218

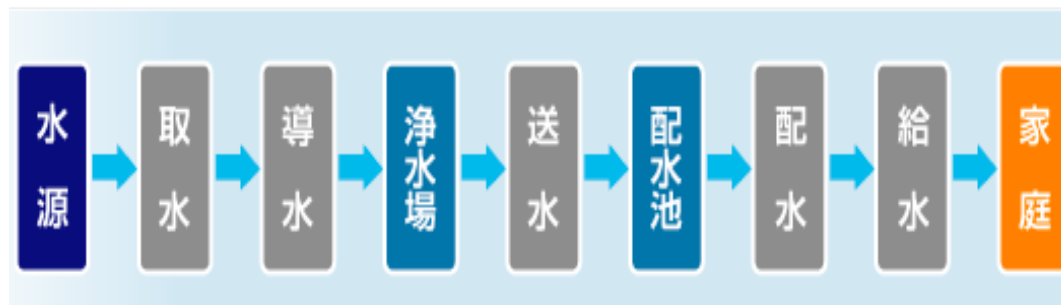
(単位:千円)

建設改良費	太田	館林	みどり	板倉	明和	千代田	大泉	邑楽	合計
H18	1,872,961	303,941	339,287	82,203	120,312	33,154	191,416	115,858	3,059,132
H27	1,079,987	882,341	613,674	160,285	95,409	112,053	312,360	187,045	3,443,154

※出典:決算書
(値は税込み)

4. 主な工事

水道水が家庭に届くまでの流れ



- ◆ 浄水場等の水道水をつくる施設の改修・更新
太田渡良瀬浄水場 薬注設備更新工事
大泉第一浄水場 受水設備工事など
- ◆ 配水管(配水池から利用者様の近くに
水を送る水道管)の新設及び交換工事
35,716.5 m
- ◆ 広域化に伴う送水管(浄水場から配水池に
へ水を送る水道管)の新設工事4,715.6m
東長岡幹線～大泉第一浄水場
藪塚低区配水池～太田強戸配水池など

